

国語科

教科の視点

不易流行(ふえきりゅうこう)

「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)を守りながら、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)に柔軟に対応する。

身につく力

- ・「生きる力」となる国語力を育む。
- ・コミュニケーションツールである言語の基礎的・基本的な知識・技能を習得する。
- ・言語を通して的確に理解し、論理的に思考し、表現する能力を育成する。

「学び」の内容

現代文 自分が主張したいことを読み手に正確に伝えるために文章を組み立てていく筋道が、「論理」と言われるものです。私たちは、書き手の論理を忠実に追いかけて、書き手の主張を正確につかむことが大切です。授業では日常的に語彙力を高める学習をしつつ、論理的思考力を高める訓練をします。この能力は、あらゆる教科のベース(土台)です。

表現 表現は、書く力と話す力を磨いていく分野です。この書く力は、生きるうえで重要な力です。表現に必要なのもやはり論理力です。自分の言いたいことを論理的に伝えることによって、自分と異なった意見や感性の持ち主にも納得させることができるのです。語彙力を高め、様々な表現方法によって、自分の考えを効果的に表現することを学びます。

古典(古文・漢文) 私たちのものの考え方・感じ方は一朝一夕に出来上がったものではありません。私たちの行動の一つひとつが、無意識のうちに先人の影響を受けていると言っていいでしょう。「古典B」では、先人のものの見方や考え方を読み取り、味わうことを目標とします。古文とは、江戸時代以前の文章のことを言いますが、平安時代の文法や語彙が土台となっています。また、漢文は訓読法の発明により、広く日本に漢文が普及し、私たちのものの考え方・感じ方に大きな影響を与えたのです。その読解のための能力を学び、理解を深めます。

開講予定科目名

1年次 国語総合

2年次 現代文B

古典B

3年次 現代文B

古典B

(理数科・普通科文理スポーツコースは選択科目)